

平成 30 年度第 2 回 八尾市生涯学習センター学習プラザ運営審議会
議 事 要 旨

1. 開催日時：平成 31 年 3 月 20 日（水） 14:00-15:00
開催場所：生涯学習センター学習プラザ 4 階 大研修室
出席委員：清水委員・正田委員・横山委員・水野委員・泊里委員・堀委員・磯谷委員
(順不同)
2. 議事案件
 - (1) 委員長・副委員長の選出について
 - (2) 平成 30 年度第 1 回 八尾市生涯学習センター学習プラザ運営審議会会議録の承認
 - (3) 平成 31 年度八尾市生涯学習センター学習プラザ事業計画について
・・・資料 1
 - (4) 八尾市生涯学習センターのあり方検討について
・・・資料 2
 - (5) その他
3. 議事の概要（○：委員、●：事務局、◎：指定管理者）
 - (1) 委員長・副委員長の選出について
→委員長として堀委員、副委員長として正田委員を選出。
 - (2) 平成 30 年度第 1 回八尾市生涯学習センター学習プラザ運営審議会会議録の承認
※ 全委員異議なし
 - (3) 平成 31 年度八尾市生涯学習センター学習プラザ事業計画について
 -) 指定講座と自主講座の違いは
 -) 指定講座は、市の施策に資する講座で、仕様書において実施が指定されている講座である。また、自主講座は、指定管理者の強みを生かし、施設の運営主旨に資する講座を指定管理者の発意により展開していただくものとなっている。
 -) 今年度、実施が見送られた講座はあるのか。
 - ◎) 一部の講座で年度中で終了した講座はある。
 -) 各講座は、学習者として何歳からを想定しているのか。
 - ◎) 一般的には 16 歳からとしているが、具体的には、各講座の講師と相談の上決定している。
 - (4) 八尾市生涯学習センターのあり方検討について
 -) 八尾市をまちの魅力や歴史的史跡などを PR したり、八尾市の取り組みを市民に広げていくような講座がもっと必要ではないか。
 -) 住んでいる近くで学習ができる環境にある。同じような内容の講座を学習センターで実施するのではなく、他の学習施設では実施されていない内容に取り組んでいく必要があるのではないかと思う。

-) 私自身はコミセンの利用が多いのだが、学習センターをはじめそれぞれの学習施設同士の連携が薄く、自己完結的になっていることが課題であると思う。学習センターは、学習活動のハブ的機能を担って、市民の学習活動のネットワーク化を図る必要があると思う。
-) そもそも施設としてのミッションが見えない。このような施設は、昨今、沢山できてきているのが現状であり、市域を超えてボーダーレス化もしていると思う。
このような理由から、学習センターの役割としては、やはり学習活動や情報の連携を図っていくことが大切であると思う。
-) 学習センターでは、市民が自由にコミュニケーションを図り、学習を深められるような「いこいの場」が今後も必要であると思う。
-) 学習センターの地理的な課題もあると思うが、そもそも若い世代が学習活動から離れてきていることが課題であると思う。特に、30代・40代といった世代が、学習活動から遠のいているように感じる。つまり、30代・40代のニーズをつかんだ講座がないのではないか。もっと情報発信についても、積極的に実施していく必要があると思う。
-) 若い世代に対し、いかに学びを作っていくかを考えていかないといけない。文化の継承における後継者づくりも、課題は同じである。学習センターには、今後、市民の学びを発掘し、サポートする役割が求められるのではないかと思う。
-) 学習センターでは、楽しいことだけを行うのではなく、人格形成や情操教育など教育側面から行うべきテーマがある。

(5) その他

次年度の会議日程について、事務局より説明。